



# 2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 矢島 昌明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 廣岡 勝也 TEL 075-682-1010  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	141,407	△1.7	4,956	△0.4	△1,981	-	△1,543	-	△3,950	-
2023年3月期第3四半期	143,903	10.7	4,978	△3.1	△1,810	-	252	△96.7	△2,226	-

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△3,903	-	9,075	723.5	△67.98	△67.98
2023年3月期第3四半期	△2,289	-	1,102	-	△37.92	△37.92

(注) 1. 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2. IAS第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）の適用に伴い、2023年3月期第3四半期について遡及適用後の数値を記載しております。なお、四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益及び四半期包括利益合計額の2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	281,282	209,813	206,557	73.4
2023年3月期	285,659	213,482	210,197	73.6

(注) IAS第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）の適用に伴い、2023年3月期について遡及適用後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	40.00	-	40.00	80.00
2024年3月期	-	50.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	196,000	3.9	1,700	△58.6	△12,000	-	△11,200	-	△10,800	△188.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、添付資料P.12「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	61,000,000株	2023年3月期	64,500,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,287,524株	2023年3月期	6,487,185株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	57,412,738株	2023年3月期3Q	60,364,680株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(会計方針の変更)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

#### ① 当第3四半期の業績

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期 連結累計期間	2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
<b>売上収益</b>	<b>143,903</b>	<b>141,407</b>	<b>△2,496</b>	<b>△1.7%</b>
売上原価	62,246	61,846	△400	△0.6%
<b>売上総利益</b>	<b>81,657</b>	<b>79,561</b>	<b>△2,096</b>	<b>△2.6%</b>
販売費及び一般管理費	76,679	74,605	△2,074	△2.7%
<b>事業利益</b>	<b>4,978</b>	<b>4,956</b>	<b>△22</b>	<b>△0.4%</b>
その他の収益	5,019	1,269	△3,750	△74.7%
その他の費用	11,807	8,206	△3,601	△30.5%
<b>営業損失(△)</b>	<b>△1,810</b>	<b>△1,981</b>	<b>△171</b>	<b>—</b>
金融収益	1,285	1,850	+565	+44.0%
金融費用	684	237	△447	△65.4%
持分法による投資損益(△損失)	1,461	△1,175	△2,636	—
<b>税引前四半期利益(△損失)</b>	<b>252</b>	<b>△1,543</b>	<b>△1,795</b>	<b>—</b>
<b>親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)</b>	<b>△2,289</b>	<b>△3,903</b>	<b>△1,614</b>	<b>—</b>

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における当社グループの国内の経営環境は、ECなど一部のチャネルは堅調に推移したものの、原材料価格の高騰や円安を背景としたインフレの長期化や、それに伴う選別消費の高まりにより、量販店などの主要チャネルにおける中価格帯商品の販売が伸び悩んだことから、依然として厳しい状況が続きました。海外については、米国で個人消費の持ち直しが見られたものの、英国・欧州はインフレの持続による、金融引き締め長期化などに起因する消費意欲の低下を受けて低調な推移となりました。また、中国ではゼロコロナ政策解除による持ち直しが期待されていたものの、失業率の悪化などを背景にした個人消費の伸び悩みや、ALPS処理水の海洋放出後の日本製品買い控えの影響を受け、売上の回復ペースは力強さを欠く状況が続いています。

このような環境の下、当社グループでは、2023年11月に改訂した3カ年の中期経営計画に沿って、「キャッシュを着実に創出できる体質への転換」をテーマに「収益力の改善に向けたビジネスモデル改革」、「“VISION2030”達成に向けた成長戦略」、「ROICマネジメントの導入」、「アセットライト化の推進」の取り組みを進めています。

国内事業については、ビジネスモデル改革の一環としてコスト構造改革を進めるほか、顧客ニーズの変化への対応力強化に向けてサプライチェーンマネジメント改革に着手し、店頭商品構成の見直しや需要状況に合わせた生産方式へのシフトによる在庫水準の抑制と最適化、企画開発のリードタイムの短縮に取り組んでいます。また、海外事業については、EC成長の実現に向けてデジタルを活用した顧客接点の拡大の取り組みに加えて、欧州における販売エリア・チャネルの拡大などを進めています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上収益は、1,414.1億円(前年同期比1.7%減)となりました。事業利益は、減収や原価率の上昇などの影響を吸収すべく販管費のコントロールに努めた結果、49.6億円(前年同期比0.4%減)と前年同期並みの水準となりました。営業損失は、Intimates Online, Inc.(以下、IO社)の「LIVELY(ライブリー)」事業の撤退および会社清算に伴うワコールインターナショナル(米国)に係る減損損失などの計上(74.0億円)※1が響き、19.8億円の営業損失(前年同期は18.1億円の営業損失※2)となりました。税引前四半期損益は営業損失に加え、持分法投資の減損損失の計上により、15.4億円の損失(前年同期は2.5億円の四半期利益)、親会社の所有者に帰属する四半期損益は39.0億円の損失(前年同期は22.9億円の四半期損失)となりました。

なお、当該期間の為替換算レートは、1米ドル=143.29円(前年同期136.51円)、1英ポンド=179.52円(同163.91円)、1中国元=19.98円(同19.88円)です。

※1 IO社の「LIVELY」事業の撤退および会社清算に伴うワコールインターナショナル（米国）に係る減損損失については、2023年11月9日に開示した「2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想との差異、通期連結業績予想の修正、連結子会社における構造改革の実施、米国の連結子会社の事業撤退に伴う清算による減損損失計上および役員報酬の減額に関するお知らせ（IFRS）」をご覧ください。

[https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20231109\\_1.pdf](https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20231109_1.pdf)

※2 2023年3月期第3四半期連結累計期間は、「その他の収益」として固定資産売却益（30.2億円）を計上したほか、「その他の費用」としてワコールインターナショナル（米国）に係る減損損失（101.1億円）を計上しています。詳しくは、2023年2月10日に開示した「業績予想の修正および減損損失の計上に関するお知らせ（IFRS）」、ならびに2022年11月11日に開示した「固定資産の譲渡及びその他の収益の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

[https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20230210\\_3.pdf](https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20230210_3.pdf)

[https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20221111\\_4.pdf](https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20221111_4.pdf)

② 報告セグメントの営業概況

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	第3四半期実績	構成比	第3四半期実績	構成比	増減額	増減率
売上収益合計	143,903	100.0%	141,407	100.0%	△2,496	△1.7%
ワコール事業（国内）	74,683	51.9%	72,561	51.3%	△2,122	△2.8%
ワコール事業（海外）	49,792	34.6%	50,308	35.6%	+516	+1.0%
ピーチ・ジョン事業	9,049	6.3%	8,066	5.7%	△983	△10.9%
その他	10,379	7.2%	10,472	7.4%	+93	+0.9%

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	第3四半期実績	売上比	第3四半期実績	売上比	増減額	増減率
営業利益（△損失）	△1,810	—	△1,981	—	△171	—
ワコール事業（国内）	5,053	6.8%	3,082	4.2%	△1,971	△39.0%
ワコール事業（海外）	△8,044	—	△5,350	—	+2,694	—
ピーチ・ジョン事業	896	9.9%	△50	—	△946	—
その他	285	2.7%	337	3.2%	+52	+18.2%

a. ワコール事業（国内）

当第3四半期連結累計期間における販売実績は、引き続きブランドやチャネルで販売動向が異なり、強弱が入り交じる状況が継続しました。高価格帯ブランドの「Yue（ユエ）」、「Salute（サルート）」が引き続き堅調に推移したことに加え、メンズインナーウェアも消費者からの高い評価を受けて伸長しました。一方、主に中価格帯商品を展開する主力ブランドの「Wacoal（ワコール）」、「Wing（ウイング）」については物価上昇を背景とする消費者の選別消費の高まりもあり、第3四半期会計期間も低調に推移しました。また、量販店における販売不振を受け、店頭在庫の調整を目的に返品高が増加したことも減収要因となりました。

直営店については、若年層をターゲットとする「AMPHI（アンフィ）」が来店客数の伸び悩みから苦戦しましたが、「Wacoal The Store（ワコールザストア）」やファクトリーストアの堅調な推移が寄与し、全体では前年同期並みの売上規模となりました。自社ECについては、休眠顧客の掘り起こしに努めたことに加え、秋冬のセール売上が好調に推移したことも寄与し、第3四半期会計期間は大幅な増収となりました。また、他社ECについても、引き続きECモール運営事業者との連携強化に取り組んだ結果、好調を維持しています。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は725.6億円（前年同期比2.8%減）となりました。営業利益は、前期のフレックス定年制度の特別運用を受けた人員の減少による人件費の削減のほか、売上動向を踏まえて広告費の抑制に努めたものの、減収影響や売上利益率の低下に加え、前期に計上した固定資産売却益（30.2億円）の裏返しもあり、前年同期に比べ39.0%減少の30.8億円となりました。

b. ワコール事業（海外）

ワコールヨーロッパは、10月以降、主要エリアである英国・欧州向けについてはインフレ・高金利の継続による消費意欲の低下の影響もあり低調な推移となったものの、米国向けはインフレの鈍化を受けて個人消費が持ち直したことを背景に商況の改善が見られました。しかしながら、9月に発生したサイバーインシデントによる出荷停止の影響や冷夏による水着の売上減少の影響を補うには至らず、当第3四半期連結累計期間の売上は現地通貨ベースで減収となりました。

ワコールインターナショナル（米国）は、「Wacoal」ブランドを展開する米国ワコールが堅調に推移したものの、「LIVELY」ブランドを展開するI0社が大幅な減収となったことが影響し、前年同期を下回りました。第3四半期会計期間における米国ワコールは、自社ECが堅調に推移したことに加え、個人消費の持ち直しを受けて主要得意先の仕入抑制が緩和されたことから、実店舗・他社ECの売上に改善が見られました。一方、I0社については事業撤退の決定を受け、11月以降、割引プロモーションの実施により在庫の売り減らしに注力したものの、想定を下回る売上で推移しました。

中国ワコールは、前年同期に新型コロナウイルス感染症に対する厳格な行動制限が実施されていた裏返しから増収となりましたが、個人消費の回復の遅れや、ALPS処理水の海洋放出後の日本製品買い控えの影響に伴う実店舗への来店客数の伸び悩みや、ECでの競争激化等により、売上は想定を大きく下回って推移しました。

これらの結果、ワコールヨーロッパ、ワコールインターナショナル（米国）では現地通貨ベースで減収となりましたが、主要通貨が円安に推移したことが寄与し、邦貨換算ベースでの当該セグメントの売上収益は503.1億円（前年同期比1.0%増）と増収となりました。営業損益は、I0社の事業撤退・清算に伴うワコールインターナショナル（米国）に係るのれんの減損損失などの計上（74.0億円）が影響し、53.5億円の営業損失（前年同期は80.4億円の営業損失）となりました。

c. ピーチ・ジョン事業

当第3四半期連結累計期間については、有名タレントとのコラボレーション企画の実施によって、新規顧客の獲得に注力したものの、想定した結果を得ることができず、直営店・自社ECともに苦戦が継続しました。他方、他社ECについては新たなECモール事業者との取引開始が寄与し、好調に推移しました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は80.7億円（前年同期比10.9%減）となりました。営業損益は、減収の影響やECシステムの更新に伴う経費増加に加えて、中国子会社の清算に伴う為替差損の実現が影響し、0.5億円の営業損失（前年同期は9.0億円の営業利益）となりました。

d. その他

当第3四半期連結累計期間については、ルシアンは大手衣料品チェーン向けのプライベートブランド商品の販売が低調に推移した結果、減収となりました。一方、七彩は都市部の商業施設への来店客数の増加を背景に、マネキンのレンタル事業、什器等の物販事業、内装工事事業が堅調に推移したことから増収となりました。また、Aiにつきましても、旅行関連需要の回復を受けて増収となりました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は104.7億円（前年同期比0.9%増）となりました。営業利益は、増収効果などから3.4億円（前年同期比18.2%増）となりました。

(参考) 主要子会社の売上収益・営業利益（△損失）

(単位：百万円)

売上収益	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	第3四半期実績	構成比	第3四半期実績	構成比	増減額	増減率
ワコール	70,397	48.9%	68,519	48.5%	△1,878	△2.7%
ワコールインターナショナル（米国）	21,491	14.9%	21,302	15.1%	△189	△0.9%
ワコールヨーロッパ	14,013	9.7%	14,504	10.3%	+491	+3.5%
中国ワコール	7,333	5.1%	7,746	5.5%	+413	+5.6%
ピーチ・ジョン	9,049	6.3%	8,066	5.7%	△983	△10.9%
ルシアン	2,494	1.7%	1,889	1.3%	△605	△24.3%
七彩	4,703	3.3%	5,085	3.6%	+382	+8.1%

※外部売上収益のみを記載しています。

(単位：百万円)

営業利益 (△損失)	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	第3四半期実績	売上比	第3四半期実績	売上比	増減額	増減率
ワコール	5,160	7.3%	2,768	4.0%	△2,392	△46.4%
ワコールインターナショナル (米国)	△9,587	—	△6,981	—	+2,606	—
ワコールヨーロッパ	955	6.8%	957	6.6%	+2	+0.2%
中国ワコール	△668	—	△269	—	+399	—
ピーチ・ジョン	896	9.9%	△50	—	△946	—
ルシアン	90	3.6%	15	0.8%	△75	△83.3%
七彩	32	0.7%	43	0.8%	+11	+34.4%

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産や使用権資産の減少に加え、のれんの減損などにより前連結会計年度末に比して43億77百万円減少し、2,812億82百万円となりました。

負債は、未払法人所得税や繰延税金負債が増加したものの、営業債務及びその他の債務などが減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して7億8百万円減少し、714億69百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比して36億40百万円減少し、2,065億57百万円となりました。

これらの結果により、当第3四半期連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比して0.2ポイント減少し、73.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して33億96百万円増加し、301億77百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期損失39億50百万円に減価償却費及び償却費や法人所得税費用などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、75億95百万円の収入（前年同期に比し13億60百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、その他の金融資産の売却及び償還による収入などにより、110億3百万円の収入（前年同期に比し58億29百万円の収入増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース負債の返済や自己株式の取得、配当金の支払などにより、164億37百万円の支出（前年同期に比し19億97百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月9日に公表した連結業績予想から変更ありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	26,781	30,177
営業債権及びその他の債権	20,215	19,481
その他の金融資産	1,804	2,335
棚卸資産	53,720	54,133
その他の流動資産	3,100	5,420
流動資産合計	105,620	111,546
非流動資産		
有形固定資産	46,702	45,550
使用权資産	12,260	10,716
のれん	16,256	11,154
無形資産	13,043	12,163
投資不動産	2,957	2,840
持分法で会計処理されている投資	20,499	19,623
その他の金融資産	50,195	48,103
退職給付に係る資産	13,978	15,598
繰延税金資産	3,316	3,117
その他の非流動資産	833	872
非流動資産合計	180,039	169,736
資産合計	285,659	281,282



(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	5,000	7,099
リース負債	4,661	4,438
営業債務及びその他の債務	17,535	13,896
その他の金融負債	1,172	1,061
未払法人所得税	1,683	3,693
その他の流動負債	13,791	14,653
流動負債合計	43,842	44,840
非流動負債		
借入金	3,084	1,840
リース負債	7,670	6,291
退職給付に係る負債	2,470	2,180
繰延税金負債	13,886	15,109
その他の非流動負債	1,225	1,209
非流動負債合計	28,335	26,629
負債合計	72,177	71,469
資本		
資本金	13,260	13,260
資本剰余金	29,029	20,563
利益剰余金	151,779	150,068
その他の資本の構成要素	32,023	37,550
自己株式	△15,894	△14,884
親会社の所有者に帰属する持分合計	210,197	206,557
非支配持分	3,285	3,256
資本合計	213,482	209,813
負債及び資本合計	285,659	281,282

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
		%		%
売上収益	143,903	100.0	141,407	100.0
売上原価	△62,246	△43.3	△61,846	△43.7
販売費及び一般管理費	△76,679	△53.3	△74,605	△52.8
その他の収益	5,019	3.5	1,269	0.9
その他の費用	△11,807	△8.2	△8,206	△5.8
営業損失 (△)	△1,810	△1.3	△1,981	△1.4
金融収益	1,285	0.9	1,850	1.3
金融費用	△684	△0.4	△237	△0.2
持分法による投資損益	1,461	1.0	641	0.5
持分法による投資の減損損失	—	—	△1,816	△1.3
税引前四半期利益 (△損失)	252	0.2	△1,543	△1.1
法人所得税費用	△2,478	△1.7	△2,407	△1.7
四半期損失 (△)	△2,226	△1.5	△3,950	△2.8
四半期損失 (△) の帰属				
親会社の所有者	△2,289	△1.6	△3,903	△2.8
非支配持分	63	0.1	△47	△0.0
四半期損失 (△)	△2,226	△1.5	△3,950	△2.8
1株当たり四半期損失 (△)				
基本的1株当たり四半期損失 (△) (円)	△37.92		△67.98	
希薄化後1株当たり四半期損失 (△) (円)	△37.92		△67.98	

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期損失 (△)	△2,226	△3,950
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	615	7,937
確定給付制度の再測定	△45	—
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	176	△140
純損益に振り替えられることのない項目合計	746	7,797
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,301	4,670
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	281	558
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,582	5,228
その他の包括利益合計	3,328	13,025
四半期包括利益	1,102	9,075
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,001	8,985
非支配持分	101	90
四半期包括利益	1,102	9,075

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2022年4月1日残高	13,260	29,077	158,940	27,571	△10,858	217,990	2,878	220,868
会計方針の変更による累積的影響額			228			228		228
会計方針の変更を反映した当期首残高	13,260	29,077	159,168	27,571	△10,858	218,218	2,878	221,096
四半期損失 (△)			△2,289			△2,289	63	△2,226
その他の包括利益				3,290		3,290	38	3,328
四半期包括利益合計	—	—	△2,289	3,290	—	1,001	101	1,102
自己株式の取得					△6,248	△6,248		△6,248
自己株式の消却			△2,863		2,863	—		—
株式報酬取引		△47			102	55		55
配当金			△4,243			△4,243	△95	△4,338
非支配持分との資本取引						—	123	123
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			1,838	△1,838		—		—
所有者との取引額合計	—	△47	△5,268	△1,838	△3,283	△10,436	28	△10,408
2022年12月31日残高	13,260	29,030	151,611	29,023	△14,141	208,783	3,007	211,790

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2023年4月1日残高	13,260	29,029	151,779	32,023	△15,894	210,197	3,285	213,482
四半期損失 (△)			△3,903			△3,903	△47	△3,950
その他の包括利益				12,888		12,888	137	13,025
四半期包括利益合計	—	—	△3,903	12,888	—	8,985	90	9,075
自己株式の取得					△7,614	△7,614		△7,614
自己株式の消却		△8,572			8,572	—		—
株式報酬取引		8			52	60		60
配当金			△5,169			△5,169	△99	△5,268
支配継続子会社に対する持分変動		98				98	△20	78
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			7,361	△7,361		—		—
所有者との取引額合計	—	△8,466	2,192	△7,361	1,010	△12,625	△119	△12,744
2023年12月31日残高	13,260	20,563	150,068	37,550	△14,884	206,557	3,256	209,813

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期損失 (△)	△2,226	△3,950
減価償却費及び償却費	8,059	8,856
減損損失	10,109	6,496
金融収益	△1,285	△1,850
金融費用	684	237
持分法による投資損益 (△は益)	△1,461	△641
持分法による投資の減損損失	—	1,816
法人所得税費用	2,478	2,407
固定資産除売却損益 (△は益)	△2,758	42
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	980	1,360
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,255	1,128
その他の資産の増減額 (△は増加)	△589	△1,030
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,130	△3,925
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△123	△1,919
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,055	82
その他	△1,418	△419
小計	6,120	8,690
利息の受取額	81	210
配当金の受取額	1,675	1,793
利息の支払額	△191	△217
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,450	△2,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,235	7,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	293	739
定期預金の預入による支出	△95	△1,286
有形固定資産の取得による支出	△2,146	△1,546
有形固定資産の売却による収入	4,525	625
無形資産の取得による支出	△1,841	△1,249
その他の金融資産の取得による支出	△37	△132
その他の金融資産の売却及び償還による収入	4,344	13,717
その他	131	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,174	11,003
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,110	675
長期借入れによる収入	1,365	—
リース負債の返済による支出	△4,506	△4,300
自己株式の取得による支出	△6,248	△7,614
親会社の所有者への配当金の支払額	△4,243	△5,169
非支配持分への配当金の支払額	△95	△99
条件付対価の支払額	△720	—
非支配持分からの払込による収入	123	—
非支配持分への子会社持分売却による収入	—	78
非支配持分への子会社持分取得による支出	—	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,434	△16,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	209	1,235
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,816	3,396
現金及び現金同等物の期首残高	37,485	26,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,669	30,177

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループでは、第1四半期連結会計期間よりIAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税 (2021年5月改訂)	リース及び廃棄義務に係る繰延税金の会計処理の明確化

この基準の適用により、リース及び廃棄義務のように取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異を生じさせる取引に関する当初認識時の会計処理が明確化され、当該将来加算一時差異と将来減算一時差異について繰延税金負債及び繰延税金資産が連結財政状態計算書にそれぞれ認識されることとなります。

同基準の適用により前連結会計年度の連結財務諸表を遡及修正しております。これにより、要約四半期連結財政状態計算書の前連結会計年度において、繰延税金資産が363百万円増加、利益剰余金が361百万円増加、その他の資本の構成要素が2百万円増加しております。また、要約四半期連結損益計算書の前第3四半期連結累計期間において、法人所得税費用が142百万円減少し、四半期利益が同額増加しております。

なお、上記の基準の適用による累積的影響額が反映されたことにより、要約四半期連結持分変動計算書において、前第3四半期連結累計期間の利益剰余金の期首残高が228百万円増加しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	74,683	49,792	9,049	133,524	10,379	—	143,903
セグメント間の内部売上収益	839	10,372	205	11,416	3,206	△14,622	—
合計	75,522	60,164	9,254	144,940	13,585	△14,622	143,903
セグメント利益 (△損失) (注) 2	5,053	△8,044	896	△2,095	285	—	△1,810

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	72,561	50,308	8,066	130,935	10,472	—	141,407
セグメント間の内部売上収益	486	9,689	151	10,326	3,364	△13,690	—
合計	73,047	59,997	8,217	141,261	13,836	△13,690	141,407
セグメント利益 (△損失) (注) 2	3,082	△5,350	△50	△2,318	337	—	△1,981

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ルシアン事業、七彩事業等を含みます。

2. セグメント利益（△損失）の合計については、要約四半期連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。なお、営業損失（△）から税引前四半期利益（△損失）までの調整については、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりであります。
3. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われております。

## (3) 地域別に関する情報

外部顧客に対する売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
日本	93,188	90,306
アジア・オセアニア	16,490	16,466
欧米	34,225	34,635
合計	143,903	141,407

- (注) 1. 売上収益は連結会社の所在地を基礎とし分類したものであります。
2. 欧米のうち、米国における前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の売上収益は、それぞれ25,133百万円及び24,570百万円であります。